# 平成24年10月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年6月14日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 上場会社名 | 株式会社オハラ | | 上場取引所　東 |
| コード番号 | 5218 | ＵＲＬ　http://www.ohara-inc.co.jp/ | |
| 代表者 | （役職名）代表取締役社長 | （氏名）齋藤　弘和 | |
| 問合せ先責任者 | （役職名）常務取締役 経営企画、経理担当 | （氏名）中島　隆 | ＴＥＬ　042-772-2101 |
| 四半期報告書提出予定日 | 平成24年6月14日 | 配当支払開始予定日 | － |

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無　　：有　　（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成24年10月期第２四半期の連結業績（平成23年11月１日～平成24年４月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年10月期第２四半期 | 15,121 | 15.8 | 906 | 361.2 | 1,333 | 320.3 | 972 | 379.2 |
| 23年10月期第２四半期 | 13,061 | △0.2 | 196 | △86.7 | 317 | △80.2 | 202 | △82.9 |

（注）包括利益　24年10月期第２四半期　1,747百万円（310.4%）　23年10月期第２四半期　425百万円（－%）

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年10月期第２四半期 | 39.98 | － |
| 23年10月期第２四半期 | 8.34 | － |

（２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | １株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年10月期第２四半期 | 60,885 | 41,723 | 68.0 | 1,701.70 |
| 23年10月期 | 57,879 | 40,490 | 69.4 | 1,651.49 |

（参考）自己資本　24年10月期第２四半期　41,394百万円　23年10月期　40,173百万円

２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年10月期 | － | 0.00 | － | 20.00 | 20.00 |
| 24年10月期 | － | 0.00 | | | |
| 24年10月期（予想） | | | － | 20.00 | 20.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成24年10月期の連結業績予想（平成23年11月１日～平成24年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 32,600 | 13.7 | 2,100 | 27.7 | 2,100 | 29.3 | 1,100 | 27.0 | 45.22 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　　有
新規　１　社　（社名　台湾小原光学材料股份有限公司）　、除外　　－　社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
② ①以外の会計方針の変更　：　無
③ 会計上の見積りの変更　：　無
④ 修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 24年10月期２Ｑ | 25,450,000株 | 23年10月期 | 25,450,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年10月期２Ｑ | 1,124,436株 | 23年10月期 | 1,124,372株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 24年10月期２Ｑ | 24,325,610株 | 23年10月期２Ｑ | 24,325,642株 |

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（７）重要な後発事象 …… 10

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、弱い回復基調で推移しました。アジア地域では、輸出の減速に伴い成長ペースが鈍化し、中国では内需面の減速も目立ちました。米国では個人消費の改善を背景に持ち直しの動きが見られるものの、欧州諸国の一部はマイナス成長となりました。わが国経済は東日本大震災の復興需要等を背景に、緩やかな回復が続きました。

当社グループが関連する光事業の関連機器市場では、デジタルカメラは期前半にタイ洪水による生産の落ち込みが見られたものの、生産能力は早期に回復し、一眼レフタイプや交換レンズを中心に各地域で強い需要が続きました。エレクトロニクス関連機器市場では、ハードディスクドライブはタイ洪水の影響を大きく受けたものの、生産能力は順次回復が続きました。また、産業機器市場では、設備投資の回復に伴い半導体露光装置の需要が堅調に推移した一方、液晶露光装置は液晶パネルの生産調整による投資の抑制が続きました。

このような状況のもと、当第２四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

売上高は、一眼レフカメラや交換レンズ向け光学機器用レンズ材の需要が底堅く推移したほか、ハードディスク用ガラス基板材の需要も徐々に回復したことから、15,121百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

損益面では、前期からのレアアース価格高騰の影響で、原料払出し単価が高止まりする中、一部製品の販売価格を改定し、ハードディスク用ガラス基板材の製造固定費の削減に努めたことなどにより、売上総利益は、3,738百万円（同29.1%増）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費など一部経費が増加したことにより、2,831百万円（同4.9%増）となり、営業利益は、906百万円（同361.2%増）となりました。経常利益は為替差益が増加したことなどにより、1,333百万円（同320.3%増）となりました。

四半期純利益は、法人税等の計上額が減少したことなどにより、972百万円（同379.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間より、営業費用の配賦方法を変更しております。セグメント情報の期間比較可能性を確保するために、前第２四半期連結会計期間のセグメント情報について、営業費用の配賦方法変更後の金額を記載しております。詳細は、３.四半期連結財務諸表（５）セグメント情報等をご覧下さい。

① 光事業

当事業の主力製品であります光学プレス品及び光学ブロック品は、期後半に一時的な生産調整が見られたものの、一眼レフデジタルカメラや交換レンズの需要は底堅く推移しました。損益面では、前期からのレアアース価格高騰の影響が残ったものの、東日本大震災の影響を受けた前年同期に比べ、利益率は改善しました。

これらの結果、当事業の売上高は11,131百万円（前年同期比18.8%増）、営業利益は974百万円（同50.6%増）となりました。

② エレクトロニクス事業

当事業の主力製品でありますハードディスク用ガラス基板材は、タイ洪水被害からの復旧により需要が回復する中、固定費削減にも努めることで、損益面も改善傾向となりました。また、半導体露光装置向け高均質光学ガラスが堅調に推移したほか、石英ガラスも好調を維持しました。一方、液晶露光装置の需要低迷を受け、極低膨張ガラスセラミックスの販売は伸び悩みました。

これらの結果、当事業の売上高は3,990百万円（前年同期比8.1%増）、営業損失は68百万円（前年同期は450百万円の営業損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における総資産は60,885百万円（前連結会計年度末比5.2%増）となりました。

流動資産の残高は31,606百万円（同7.5%増）となりました。これは、受取手形及び売掛金は回収により減少したものの、借入金を増加させたことにより現金及び預金が増加したこと、また、商品及び製品、仕掛品が増加したことなどが主な要因であります。

固定資産の残高は29,279百万円（同2.8%増）となりました。これは、有形固定資産は減価償却などにより減少したものの、投資有価証券が、持分法適用会社の増資引き受けや、時価評価により増加したことなどが主な要因であります。

流動負債の残高は12,670百万円（同0.2%減）となりました。これは、短期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が減少したことなどが主な要因であります。

固定負債の残高は6,491百万円（同38.5%増）となりました。これは、繰延税金負債の減少や特別修繕引当金の取崩による減少があったものの、長期借入金が増加したことなどが主な要因であります。

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は41,723百万円（同3.0%増）となりました。これは、剰余金の配当があったものの、四半期純利益の計上や為替換算調整勘定の変動などが主な要因であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年12月15日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## ２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第２四半期連結会計期間において、台湾小原光学材料股份有限公司は、新規設立したことにより連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## ４．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年10月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成24年４月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,192,541 | 8,333,941 |
| 受取手形及び売掛金 | 9,012,342 | 8,545,784 |
| 有価証券 | 8,615 | 8,618 |
| 商品及び製品 | 1,579,516 | 2,060,313 |
| 仕掛品 | 5,513,480 | 6,229,049 |
| 原材料及び貯蔵品 | 5,753,863 | 5,667,789 |
| 繰延税金資産 | 399,945 | 243,484 |
| その他 | 967,076 | 537,721 |
| 貸倒引当金 | △20,329 | △20,186 |
| 流動資産合計 | 29,407,053 | 31,606,514 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 9,611,589 | 9,733,885 |
| 減価償却累計額 | △5,170,436 | △5,354,815 |
| 建物及び構築物（純額） | 4,441,152 | 4,379,070 |
| 機械装置及び運搬具 | 20,762,535 | 21,346,017 |
| 減価償却累計額 | △13,791,843 | △14,484,756 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 6,970,691 | 6,861,260 |
| 工具、器具及び備品 | 12,377,061 | 12,501,341 |
| 減価償却累計額 | △1,703,323 | △1,757,310 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 10,673,738 | 10,744,030 |
| 土地 | 201,934 | 202,498 |
| 建設仮勘定 | 348,192 | 386,431 |
| 有形固定資産合計 | 22,635,709 | 22,573,291 |
| 無形固定資産 | 92,926 | 89,612 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,556,064 | 5,385,668 |
| 長期貸付金 | 460,779 | 460,356 |
| 繰延税金資産 | 11,093 | 10,389 |
| その他 | 715,938 | 759,912 |
| 投資その他の資産合計 | 5,743,875 | 6,616,326 |
| 固定資産合計 | 28,472,511 | 29,279,231 |
| 資産合計 | 57,879,565 | 60,885,746 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年10月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成24年４月30日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,071,329 | 4,250,672 |
| 短期借入金 | 5,331,640 | 6,229,922 |
| 未払法人税等 | 234,009 | 250,346 |
| 繰延税金負債 | ― | 3,889 |
| 賞与引当金 | 605,885 | 430,480 |
| 役員賞与引当金 | 76,042 | 25,069 |
| 未払金 | 956,152 | 982,763 |
| その他 | 425,884 | 497,240 |
| 流動負債合計 | 12,700,944 | 12,670,383 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,280,000 | 4,463,698 |
| 繰延税金負債 | 1,185,269 | 1,033,568 |
| 退職給付引当金 | 718,708 | 731,702 |
| 役員退職慰労引当金 | 169,446 | 158,224 |
| 特別修繕引当金 | 140,000 | ― |
| 環境対策引当金 | 3,725 | 3,725 |
| 資産除去債務 | 92,949 | 92,949 |
| その他 | 97,652 | 7,602 |
| 固定負債合計 | 4,687,752 | 6,491,470 |
| 負債合計 | 17,388,696 | 19,161,854 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,855,000 | 5,855,000 |
| 資本剰余金 | 7,930,785 | 7,930,785 |
| 利益剰余金 | 29,632,295 | 30,119,497 |
| 自己株式 | △1,548,963 | △1,549,020 |
| 株主資本合計 | 41,869,116 | 42,356,262 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,610,905 | 1,818,713 |
| 為替換算調整勘定 | △3,306,493 | △2,780,219 |
| その他の包括利益累計額合計 | △1,695,587 | △961,506 |
| 少数株主持分 | 317,340 | 329,136 |
| 純資産合計 | 40,490,868 | 41,723,892 |
| 負債純資産合計 | 57,879,565 | 60,885,746 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年11月１日<br>至　平成23年４月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年11月１日<br>至　平成24年４月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 13,061,830 | 15,121,920 |
| 売上原価 | 10,166,012 | 11,383,826 |
| 売上総利益 | 2,895,817 | 3,738,094 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,699,303 | 2,831,810 |
| 営業利益 | 196,514 | 906,283 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8,389 | 12,713 |
| 受取配当金 | 55,343 | 55,004 |
| 受取地代家賃 | 5,372 | 5,486 |
| 為替差益 | 28,920 | 263,186 |
| 持分法による投資利益 | － | 26,865 |
| 保険返戻金 | 8,892 | 9,111 |
| その他 | 68,771 | 112,864 |
| 営業外収益合計 | 175,690 | 485,232 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 35,205 | 40,436 |
| 支払補償費 | 11,528 | － |
| 業務委託料 | 1,751 | 16,964 |
| その他 | 6,480 | 758 |
| 営業外費用合計 | 54,965 | 58,159 |
| 経常利益 | 317,240 | 1,333,356 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 10,188 | 3,625 |
| 退職給付制度改定益 | 551,266 | － |
| 特別修繕引当金戻入額 | － | 143,200 |
| 特別利益合計 | 561,454 | 146,825 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,813 | 23,799 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 86,831 | － |
| 災害による損失 | 46,231 | － |
| 特別損失合計 | 135,877 | 23,799 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 742,817 | 1,456,382 |
| 法人税等 | 516,415 | 453,882 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 226,401 | 1,002,499 |
| 少数株主利益 | 23,444 | 29,942 |
| 四半期純利益 | 202,956 | 972,556 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年11月１日<br>至　平成23年４月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年11月１日<br>至　平成24年４月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 226,401 | 1,002,499 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 193,219 | 207,807 |
| 為替換算調整勘定 | 6,172 | 449,950 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | － | 87,072 |
| その他の包括利益合計 | 199,391 | 744,830 |
| 四半期包括利益 | 425,793 | 1,747,329 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 391,126 | 1,706,637 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 34,666 | 40,692 |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年11月１日<br>至　平成23年４月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年11月１日<br>至　平成24年４月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 742,817 | 1,456,382 |
| 減価償却費 | 972,893 | 1,014,423 |
| 退職給付制度改定益 | △551,266 | － |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 86,831 | － |
| 災害損失 | 46,231 | － |
| 持分法による投資損益（△は益） | － | △26,865 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | 35,796 | 18,830 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | △122,112 | △11,222 |
| 役員賞与引当金の増減額（△は減少） | △25,462 | △49,726 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △185,030 | △176,164 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | 1,636 | △775 |
| 特別修繕引当金の増減額（△は減少） | 19,200 | △140,000 |
| 受取利息及び受取配当金 | △63,733 | △67,717 |
| 支払利息 | 35,205 | 40,436 |
| 為替差損益（△は益） | △165,830 | △45,228 |
| 固定資産売却損益（△は益） | △10,188 | △3,625 |
| 固定資産除却損 | 2,813 | 23,799 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 1,472,658 | 605,213 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △1,441,921 | △847,199 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 369,453 | △963,423 |
| その他 | △515,116 | 316,339 |
| 小計 | 704,876 | 1,143,475 |
| 利息及び配当金の受取額 | 63,263 | 64,565 |
| 利息の支払額 | △44,218 | △44,707 |
| 保険金の受取額 | 81,947 | 73,133 |
| 法人税等の支払額 | △741,417 | △348,677 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 64,451 | 887,789 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | 121,650 | 1,204,345 |
| 定期預金の預入による支出 | △97,633 | △10,004 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △856,764 | △735,285 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 10,999 | 4,299 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △52,709 | △10,680 |
| 関係会社出資金の払込による支出 | △625,117 | △602,659 |
| その他 | △24,452 | △39,411 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,524,027 | △189,396 |

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年11月１日<br>至　平成23年４月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年11月１日<br>至　平成24年４月30日） |
|---|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | 492,000 | 492,000 |
| 長期借入れによる収入 | 300,000 | 3,180,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △326,620 | △590,020 |
| 自己株式の取得による支出 | △16 | △56 |
| 配当金の支払額 | △487,212 | △485,377 |
| その他 | △6,164 | △285 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △28,013 | 2,596,260 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 165,001 | 54,210 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △1,322,587 | 3,348,863 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,082,961 | 4,974,691 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,760,374 | 8,323,554 |

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自平成22年11月１日 至平成23年４月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 光事業 | エレクトロニクス事業 | 合計（注） |
|---|---|---|---|
| 売上高 | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 9,371,919 | 3,689,911 | 13,061,830 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － |
| 計 | 9,371,919 | 3,689,911 | 13,061,830 |
| セグメント利益又は損失（△） | 647,299 | △450,784 | 196,514 |

（注）セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自平成23年11月１日 至平成24年４月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 光事業 | エレクトロニクス事業 | 合計（注） |
|---|---|---|---|
| 売上高 | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 11,131,595 | 3,990,325 | 15,121,920 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － |
| 計 | 11,131,595 | 3,990,325 | 15,121,920 |
| セグメント利益又は損失（△） | 974,524 | △68,240 | 906,283 |

（注）セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項
（報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更）
提出会社の販売費及び一般管理費については、経営管理の手法を見直した結果、当連結会計年度より各報告セグメントの売上原価に基づき配賦する方法へ変更しております。なお、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報も、変更後の配賦基準で表示しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（７）重要な後発事象
該当事項はありません。